

新潟県

教育月報 4月号

第875号

令和5年4月3日発行

編集人、発行人

新潟県教育委員会

<今月号の記事>

| | | 対象校種 |
|--|---------|------|
| 1: 教育ニュースライン | P 1 | 全種 |
| 2: 令和5年度小・中・義務教育・特別支援学校における「学校教育の重点」について | P 2-3 | 小中 |
| 3: 「佐渡島(さど)の金山」世界遺産登録に向けて | P 4 | 全種 |
| 4: 埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について | P 5 | 高校 |
| 5: 「はつらつ体験塾」は「元気」「やる気」「勇氣」を育てます! | P 6 | 全種 |
| 6: 施設紹介・学校支援 | P 7 | 全種 |
| 7: インフォメーション | P 11-12 | 全種 |

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

新潟県教育振興基本計画を改定しました

新潟県と新潟県教育委員会は、この度、「新潟県教育振興基本計画」を改定しました。

本計画は、具体的な施策を示した教育行政の指針であり、教育政策を定めた行動計画です。また、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画として位置付けられるものです。

平成26年に12年間の計画として策定し、概ね4年ごとに見直しを行いました。今回は、その最後の改定となります。

「一人一人を伸ばす教育」というこれまでの基本理念を継承しながら、新たな課題(児童生徒数の大幅な減少や教員の多忙化などのこれまでの課題に加え、ICTを活用した教育の加速度的な進展や環境問題への関心の高まりなど)に対応するよう改定を行いました。

本計画の改定について検討するため、学識経験者や産業界代表者、PTA団体代表者、学校関係者、市町村教育委員会代表者からなる外部有識者会議を4回開催し、各界の有識者からのご意見を伺いました。

また、県内市町村教育委員会への意見照

会やパブリックコメントの実施により、市町村や県民の皆さんのご意見を計画に反映しています。

<改定の主なポイント>

・学びにおけるICTの活用

これまでの教育実践の積み重ねにICTを最適に組み合わせ、新しい時代の学校教育を推進します。

・キャリア教育

金融や税、法律などの社会の仕組みを学ぶとともに、生きる力、チャレンジ精神をはぐくむアントレプレナーシップ教育を推進します。

・教員の多忙化対策

時間外勤務の削減に取り組むとともに、公務のデジタル化や中学校の休日部活動の地域移行などを推進します。

新潟県教育振興基本計画の全文については、県ホームページでご覧ください。



【県HP QRコード】

令和5年度小・中・義務教育・特別支援学校における「学校教育の重点」について

義務教育課

はじめに

義務教育課では、各学校で重点的に取り組んでほしいポイントをまとめた「令和5年度学校教育の重点」を作成し、教育支援システムに掲載しました。

令和4年度に改正された県教育振興基本計画にある、今後目指すひとつづくりの姿「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとつづくり」に向けて、学習指導と生徒指導を2本柱として、教育活動の推進をお願いいたします。

学習指導

学習指導においては、確かな学力の育成に向け、「児童生徒が主役の授業づくりの推進」に重点を置きます。

各学校においては、単元のまとまりの中で、児童生徒が見方・考え方を働かせて学ぶことができるように単元構想を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指してください。県教育委員会では、Web配信集計システムの取組で対話や振り返りのある授業を行う「にいがた学びチャレンジ」を実施します。協働的な学びの実現に向け、「にいがた学びチャレンジ」を有効活用するとともに、日々の授業において、学習課題や児童生徒の実態に応じた学習形態を工夫しましょう。そして、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、デジタル教科書をはじめとした、ICTの活用をさらに進めてください。

また、県教育委員会では、引き続き教育支援システム内に指導案等の実践事例のほか、授業ですぐに使えるデジタル教材の充実を図っていきます。また、学習支援動画の配信も続きます。児童生徒の学力向上に向け、全校体制で児童生徒が主役の授業づくりの推進をお願いいたします。

生徒指導

生徒指導においては、「いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成」に向け、「特別活動」、「道徳教育」、「人権教育、同和教育」に重点を置きます。

特別活動では、活動の意義を児童生徒と見直したり、多くの仲間と意見を交わしたりするなど、様々な他者とともに学ぶ機会を設け、児童生徒の主体性が発揮される諸活動の充実に努めてください。

道徳科の授業実践にあたっては、児童生徒が日常の生活場面において、自己や他者、社会にとってよりよい判断ができるよう、「考え、議論する道徳」の推進が重要です。保護者や地域と連携するなど、多様な指導方法を取り入れ、ねらいに即した授業改善を進めてください。

人権教育、同和教育については、現地研修に参加する学校が徐々に増えています。新潟県人権教育基本方針に基づき、差別の現実に向き合い、差別をなくすために具体的に行動できる態度を育ていきましょう。また、新潟県人権教育基本方針実践のための「教職員研修の手引き」の活用をお願いいたします。

おわりに

学習指導と生徒指導の2本柱を令和5年度の学校教育の重点に掲げていますが、それぞれの充実のためには、「一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援」が欠かせません。児童生徒一人一人を大切にしながら、地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくりを全校体制で推進していきましょう。

なお、令和5年度の学校教育の重点には、それぞれの項目ごとに関連資料のQRコードを掲載しました。これらも参照しながら、具体的な取組を進めていただくようお願いいたします。

公立義務教育諸学校
令和5年度 学校教育の重点

新潟県教育振興基本計画【今後目指すひとつづくりの姿】

新潟県教育委員会

ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、
未来を切り拓いていける、たくましいひとつづくり



児童生徒が主役の
授業づくりの推進

いじめをしない、許さない、
命を大切にす意識の醸成

下越教育事務所
Teachers2023

単元構想

文部科学省
道徳教育アーカイブ

道徳教育

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、
課題の明確化や、指導方法・教材の工夫を図る。

思いやりをもち、自己や他者、社会にとっ
てよりよい判断ができてきよう、ねらいに即
した多様な指導方法を取り入れるなど、
「考え、議論する道徳」を推進する。

一人一人の教育的ニーズに
応じた指導・支援

上越教育事務所
Learning View

対話のある学び

協働的な学びの実現に向けて、
課題、児童生徒の実態に応じた学習形態
(ペア・グループ等)の工夫や、
にいがたがた学びびチャレンジの活用を図る。

中越教育事務所
リーフレット2023

ICT活用

個別最適な学びの実現に向けて、
一人一台端末及びデジタル教科書を効果的に活用する。

国立教育政策研究所
パンフレット

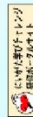
特別活動

他者への理解を深め、集団や
社会における人間関係をよるよ
よく形成することができきよ
う、学級活動や児童会、生徒
会活動での話し合いを大切にす
るなど、児童生徒主体の活動
を推進する。

新潟県教育委員会
教職員研修の手引き

人権教育、同和教育

新潟県人権教育基本方針のもと、差別
を許さず、自他を大切に行動でき
るよう、「生きる」を活用するなど、
同和教育を中核にした人権教育を推進
する。



限定公開



限定公開

地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり



限定公開

「佐渡島（さど）の金山」世界遺産登録に向けて

観光文化スポーツ部文化課

はじめに

佐渡島の金山は、金に関する鉱山で19世紀半ばまで手作業による採掘が行われ、鉱山地区に加え生産組織を伝える集落地区も良好に残っているものとして、世界で唯一の鉱山遺跡です。

県と佐渡市は、この遺跡を人類共通の財産として守り、次世代へ継承していくため、世界文化遺産の登録を目指して取組を進めています。

世界遺産登録への取組

推薦書を再提出することが決まった昨年7月以降、国や佐渡市と連携して推薦書の作成作業を進めてきました。そして、今年1月19日にユネスコへ推薦書を改めて提出しました。

今後は、ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査や世界遺産委員会での審議が予定されており、佐渡市や関係団体と連携しながら、佐渡島の金山の価値について国際的な理解が得られるよう、できる限りの取組を進めていきます。



【道遊の割戸（上部の割れ目は江戸時代に人の手によって鉱脈が掘られた露頭掘りの跡）】

出前授業の実施

県と佐渡市は、佐渡島の金山の価値を伝えるため、小・中学校において出前授業を実施しています。令和4年度は約110校で実施しました。

授業ではこんなことをお話ししています。

- ◇世界遺産って何？
- ◇佐渡島の金山って何がすごいのか？
- ◇どうやって金や銀をとっていたのか？

3月に市町村教育委員会をとおして、出前授業の案内を各学校に配布しています。

通年で実施しており、出前動画の配布やオンライン対応も可能ですので、修学旅行の事前学習や社会科の授業、総合学習などに幅広く御活用ください。



【出前授業の様子】

おわりに

世界遺産登録の目的は、貴重な遺産を未来へ引き継いでいくことです。将来、遺産を守り伝えていく役割を担う子どもたちに、教育活動を通じて佐渡島の金山の価値を伝えていけるよう、御協力をよろしくお願いいたします。

文化課世界遺産登録推進室

TEL : 025-280-5726

FAX : 025-280-5764

URL : <https://www.sado-goldmine.jp/>



埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について

観光文化スポーツ部文化課

はじめに

県文化課では、ふるさとを愛する心と郷土の貴重な宝である文化財愛護の精神を醸成するために、文化財を活用した高校生対象の出前授業を実施しています。新潟県の埋蔵文化財（遺跡）や史跡、考古学や歴史学の魅力を知る機会を提供することで、郷土愛を軸としたキャリア教育の推進に寄与できればと考えています。

本号では、出前授業について紹介します。

授業の内容

出前授業では、文化財調査員が新潟県内における発掘調査の最新の成果、郷土の遺跡・遺物（石器や土器等）を基に、新潟県の歴史や文化をお伝えします。埋蔵文化財として主に扱う旧石器時代から戦国時代における新潟県の特徴や、普段は博物館のケースに収められていて触れることができない県内出土の「本物の土器・石器」を実際に手に取りながら、観察のポイントと、そこから読み取れる情報を解説します。複数の基本メニューを用意しており、学校の要望に応じて適宜アレンジしながらの実施も可能です。

基本メニュー（令和4年度の場合）

- ◇ 縄文土器から分かること
 - ◇ 縄文・弥生時代の精神世界
 - ◇ 先史時代の日本海交流
 - ◇ 古代人の暮らし
 - ◇ 地域に残る古代の荘園
 - ◇ 地域に残る知られざる新潟の古代
 - ◇ 甦る！新潟の古代荘園
 - ◇ 甦る！新潟の古代のみち
 - ◇ 文化財調査員の仕事
- ※別にご希望があればお問い合わせください

遺跡から出土した遺物等の歴史資料に触れながら、通常授業の発展や補足としての活用のほか、「文化財調査員という仕事」「遺跡の発掘調査とは」など、キャリア教育と組み合わせた総合学習などに幅広く御活用ください。

県文化課ホームページに基本メニュー一覧及び出前授業申込書を掲載しております。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bunka/maizou-demae.html>

【県文化課ホームページ】

なお、令和4年度は、新潟向陽高校、三条東高校、十日町高校（定時制）、加茂高校の合計198名の生徒を対象に出前授業を実施しました。



【新潟向陽高校での授業の様子（R4.6.21）】

おわりに

当課では、今後も出前授業を通じて、魅力ある新潟県の歴史を知る機会を提供していきます。その中から、文化財保護に携わる人材が育つことを期待しています。

授業の内容については、御要望に応じて柔軟に対応しています。詳細については、当課埋蔵文化財係までお問い合わせ下さい。

観光文化スポーツ部文化課 埋蔵文化財係
TEL：025-280-5620

「はつらつ体験塾」は「元気」「やる気」「勇気」を育てます！

新潟県少年自然の家

はじめに

平成9年から始まった「はつらつ体験塾」には、学校や教室に行けない、もしくは、行きづらいつ感じている児童生徒が参加しています。

参加する児童生徒は、「自然体験」や「共同宿泊体験」をはじめ、様々な体験活動に取り組む中で、一歩前に踏み出すきっかけとなる、「元気」「やる気」「勇気」を身に付けていきます。

同時に、円満な「人間関係づくり」や「社会性」も高めます。そして、自信を回復した児童生徒は徐々に「心のエネルギー」を蓄え、学校復帰を果たしています。



主な活動は、「野外レクリエーション」「カヌー体験」「キャンプファイア」「クッキング」「沢登り」「テント泊」「創作活動」など、季節に応じた体験活動です。

○学生ボランティア

多くの学生ボランティアの方々の支援も得て、手厚いサポート体制で「はつらつ体験塾」を行っています。

参加した子どもたちは、集まった仲間や学生ボランティアと励まし合いながら、一つ一つ体験活動のプログラムをクリアしていきます。この過程で協力する大切さ、楽しさを味わうとともに、仲間を気遣ったり、ピンチの場面があっても力を合わせて乗り越えたりする体験を重ねていきます。そして、達成感・成就感を得ながら、少しずつ「元気」「やる気」「勇気」が芽生えていき、いつの間にか、今までの自分とは少し違う自分を実感できるようになります。



豊かな体験活動

「はつらつ体験塾」は、日帰りのミニキャンプと1泊2日の本キャンプがあります。

1 ミニキャンプ

ミニキャンプは、日帰りの日程で気軽に参加できるキャンプで、大人(保護者や担任の先生、適応指導教室の先生等)も一緒に参加することができます。

2 本キャンプ

本キャンプは、フレンドリーキャンプとチャレンジキャンプがあります。

(1) フレンドリーキャンプ (FC)

参加者の「人間関係づくり」を支援するプログラム内容で活動します。

(2) チャレンジキャンプ (CC)

テント泊や一人ではできない活動を通して、自主性・積極性を高められるようなプログラム内容になっています。

おわりに

「はつらつ体験塾」に参加した児童生徒は、「学校に行く日が増えた」「いきいきと活動できるようになった」「いろいろなことに挑戦できるようになった」と実感しています。

参加者の多くは、担任の先生や教頭先生、校長先生から、また適応指導教室の先生から「はつらつ体験塾」を勧めていただいたと話しているように、心を許せる身近な方からのアプローチがきっかけとなっています。どうぞ、日頃、子どもたちに心を寄せられている皆様から一層のご理解をいただければ幸いです。

新潟県少年自然の家
〒959-2602 胎内市乙1503-166
TEL : 0254-46-2224
URL : <https://pref.niigata.lg.jp/site/shizen/>

施設紹介・学校支援

県立図書館

県立図書館には95万冊以上の蔵書があり、専門性の高い図書や新潟県に関する資料も多く所蔵しています。

今回は、学校に対する各種支援や児童生徒の読書活動推進に関する事業、教職員の方々の授業研究に役立つサービスを御紹介します。

1 ユースコーナーの設置

勉強法や語学に関する本のほか、中高生に人気の文学作品、進路選択に役立つ大学や留学案内もあり、若い世代を中心に利用されています。

2 施設見学及び職場見学の受入れ

学校の社会科見学等の一環として、児童生徒を対象にした見学ツアーを行っています。見学では閲覧室などで図書館のサービスや機能について説明するほか、司書の仕事についての質問もお受けします。

3 調べ学習の支援

学校に対して、授業で活用する図書や児童生徒個人の読書のための本を貸出します。冊数に制限はなく、30日間借りることができます。申込方法など詳しくは当館へお問い合わせください。

4 活字による読書が困難な児童・生徒への読書支援

デージー図書など音声や画像を含む資料の貸出を学校経由で申込みいただけます。貸出には利用カードが必要です。詳しくは当館ホームページ「団体貸出」を御覧下さい。

5 訪問相談

県立高校、中等教育学校の図書館に対する訪問相談を実施しています。年2回（4月・

9月）訪問希望を聴取し、図書館運営や実務（資料選択・整理・修理など）に関する相談に応じています。

6 その他、便利なサービスのご紹介

(1) レファレンスサービス

「調べたいテーマがあるがどの本を選んだら良いかわからない」といった場合は、図書館の専門職「司書」が相談に応じます。窓口やお電話、当館ホームページで御相談ください。

電話025-284-6824（調査相談直通）

当館ホームページ「調査相談申込み」

(2) 相互貸借

当館に来館せず、お近くの図書館や公民館図書室を通して、当館の資料を利用することができます。

詳しくは当館ホームページ「遠くにお住まいの方へ」の「相互貸借」のページを御覧ください。

(3) 遠隔地返却サービス

新潟市以外にお住まいの方は、当館に来館して借りた本を、お住まいの市町村立図書館等で返却できる「遠隔地返却サービス」があります。（新潟市立図書館は除きます。）

借りる際に当館の利用カードのほか申込書の記入が必要です。詳しくは当館ホームページ「利用案内」の「遠隔地返却サービス」を御覧ください。

新潟県立図書館

〒950-8602

新潟市中央区女池南3-1-2

TEL：025-284-6001（代表）

FAX：025-284-6832

URL：<https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>

県立文書館

県立文書館は、新潟県の歴史に関する資料を保存し、それらを活用していただくための機関です。

1 文書館の仕事

文書館は、収集した古文書及びその他の資料を体系的に整理し、県民共有の財産として保存しています。整理された資料は、所定の手続を行うと閲覧・利用ができます。

また、新潟県の歴史に関する資料についての保存相談と調査を行うとともに、当館所蔵の歴史資料を活用した企画展示や各種の講座などを開催しています。

2 学校教育とのかかわり

(1) 職場体験学習

キャリア教育支援の一環として、生徒の職場体験学習・職場訪問を受け入れています。資料の整理、修復など、文書館の仕事を体験することができます。



【職場体験学習成果の企画展示】

(2) 教材研究

明治～戦前の県内刊行新聞（複製）は、授業素材として利用することができます。また、授業の素材となる地域資料の所蔵の有無や、活用方法などの相談を受け付けています。

(3) Webページの利用

文書館Webページコンテンツ「越後佐渡ヒストリア」は、所蔵資料を用いた郷土史コラムで、授業の導入などに活用できます。

県立図書館と共同で運営している「越後佐渡デジタルライブラリー」では、県内の多くの歴

史資料を画像で見ることができます。

県立文書館
〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2
TEL:025-284-6011
URL: https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=569

新潟県少年自然の家

1 自然の家の目的

新潟県少年自然の家は、自然体験活動や集団宿泊生活などをおして、豊かな情操や社会性を養い、心身ともに健全な子どもの育成を図ることを目指して設置された青少年教育施設であるとともに、学校の児童生徒だけでなく、幼児から成人・高齢者、障がい者を有する方など、多くの人から御利用いただける生涯学習の拠点施設でもあります。



【キャンプファイヤー】

2 豊富な活動メニュー

春は、植物観察や植物素材を生かした「創作活動」、夏は、当施設の最も人気のある「カヌー活動」（小学4年生以上）を体験できます。また、「野外炊さん」や、アカマツ林を利用した「オリエンテーリング」や「ウォークラリー」、屋上に設けられた星空テラスで天体望遠鏡を使つての「星空観察」や、「登山」、しばふ広場での「グラウンド・ゴルフ」も春から秋にかけて体験することができます。



【野外炊さん】

冬は雪の中の自然を散策しながら楽しむスノーシュー活動や、室内でグラウンド・ゴルフを行うことができます。

3 令和5年度の主な主催事業

主な主催事業を紹介します

○チャレンジわんぱく

7月22日～23日

1月27日～28日

- 自然・ふれあい！家族のつどい
12月2日～3日 2月10日～11日
- 家族でカヌーに親しもう
8月5日～8月6日
- 一緒にお泊りキャンプinたいない
11月3日～4日 3月16日～17日
- はつらつ体験塾
 - ・ミニキャンプ
5月14日 8月26日 9月24日 11月10日
 - ・フレンドリーキャンプ
6月17日～18日 12月16日～17日
 - ・チャレンジキャンプ
7月15日～16日 1月20日～21日
- ハートフルドリームキャンプ
9月30日～10月1日
- 国際交流キャンプ 10月7日～8日
- 中学生リーダーシップ研修
2月24日～25日
- 所長杯グラウンド・ゴルフ大会
*HPにて開催日掲載
- 大人のアウトドア体験教室
 - ・ツリーイング ・苔テラリウム 等
 これらの事業の様子を新潟県少年自然の家のHPやツイッターで見ることができます。



【ツリーイング】

4 出前講座を行っています！

新潟県少年自然の家での活動だけでなく、スタッフが地域の公民館や体育館に出かけて、レクリエーションや創作活動の指導を行っています。

「私たちのところへ来てもらえるかな？」と思われましたらどうぞ御相談ください。

<出前例>

- ・レクリエーション指導 ・いろいろなクラフト指導
- ・スキーボランティア ・高齢者施設での体力づくり指導等

5 SNSでも発信しています！



【YouTube カヌボーチャンネル】 【Twitter カヌボー】

新潟県少年自然の家
〒959-2602 胎内市乙1503-166
TEL:0254-46-2224
URL:<https://pref.niigata.lg.jp/site/shizen/>

県立近代美術館・万代島美術館

1 学習支援活動

県立近代美術館・万代島美術館では、子どもたちに美術作品の素晴らしさを伝えるとともに、コミュニケーション力、表現力、想像力、創造力の向上を目指した活動を推進しています。学習指導要領に記された「鑑賞」の内容を充実させるためにも、県立美術館をご活用ください。

(1) 来館しての活動

思考力、判断力、表現力を育めるよう、学校団体のご要望に応じて鑑賞活動の支援をいたします。当館では、作品をみる力、想像する力、考える力、伝える力を引き出し、ひいてはコミュニケーション能力を育むことができる「対話型鑑賞」を推奨しております。特に長岡市の近代美術館では、コロナ禍による制限の状況を見ながら、徐々に再開していく予定です。対話型鑑賞が不可能な場合など、作品をよく見て考えるための「ワークシート」を配布いたします。

鑑賞以外にも、御相談に応じて施設見学や職場体験、総合的な学習の支援も承ります。

(2) 出張授業

学芸員が学校に出向き、鑑賞に関わる授業を行います。鑑賞に関するもの、キャリア教育に関するものなどいくつかのメニューを揃えており、先生方の希望を受けて事前に打ち合わせをし、実施内容を決定します。展覧会に合わせ

て組んだプログラムをご紹介することもあります。(近代美術館で実施。万代島美術館の場合はお問い合わせください。)

また、児童・生徒だけでなく、教職員を対象とした、美術鑑賞に関する研修会講師も承ります。鑑賞に親しみ、子どもたちが積極的に楽しめる鑑賞方法をご紹介します。

2 学校等の観覧料免除制度

県立美術館では、小・中・高等学校の教育課程の一環として団体で来館される場合は、観覧料が免除されます。

小・中学校、中等教育学校前期課程、特別支援学校初・中等部については、「学校等団体利用申込票」を一週間前までにご提出ください。

県内の高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部については、「観覧料免除申請書」と「学校等団体利用申込票」を一週間前までにご提出ください。どちらの様式も各館Webページからダウンロードできます。

万代島美術館（新潟市）は、展示替え期間中は全面休館となります。また、近代美術館（長岡市）も、コレクション展の展示替え期間は休館いたします。
ご利用の際はお気をつけください。

近代美術館

〒940-2083 長岡市千秋3-278-14

TEL:0258-28-4111

URL:<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

万代島美術館

〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1

万代島ビル5階

TEL:025-290-6655

URL:<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



【出張授業の様子】

インフォメーション

●県立万代島美術館(新潟市)

企画展「原田治 展 「かわいい」の発見」



1970年代後半から90年代にかけて、女子高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS(オサムグッズ)」の生みの親、原田治。50～60年代のアメリカのコミックやTVアニメ、ポップアートなどから影響を受けたイラストレーター—とりわけ、簡潔な描線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターたちは、その後の日本の“かわいい”文化に多大な影響を与えました。

没後初の全国巡回展となる本展では、イラストレーターとして活動する端緒となった1970年代「an・an」の仕事をはじめとして、広告・出版・グッズなど多分野にわたる作品を中心に、幼少期から20代前半の初期資料やエッセイ集『ぼくの美術帖』関連資料も交えて展示し、時代を超えて愛される原田治の全貌に迫ります。

- 会 期 開催中～5月7日(日)
- 休 館 日 月曜日※5月1日は開館
- 開館時間 午前10時～午後6時
(観覧券の販売は午後5時30分まで)
- 観 覧 料 一般1,200円(1,000円)
高校・大学生900円(700円)
中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

県立万代島美術館
住所 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル5階
TEL:025-290-6655
URL:<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

●新潟県民会館(新潟市)

「tupera tupera のかおてん。」



【© tupera tupera《床田愉男》撮影：阿部高之】

絵本を中心に活躍しているクリエイティブユニット tupera tupera(ツペラ ツペラ)。絵本原画のほかにも参加型の立体作品や映像、読書コーナーなど、めくるめく「かお」の世界をお楽しみください。

- 会 期 開催中～5月7日(日)
 - 休 館 日 なし
 - 開館時間 午前10時～午後5時
(最終入場は午後4時30分まで)
 - 会 場 新潟県民会館 ギャラリー(3F)
 - 観 覧 料 一般1,600円
中高大生1,000円
子ども(3歳～小学生)700円
- ※アソビュー!(電子チケット)のみで販売。
会場での入場券販売はございません。

関連イベント

- ◆オトナもコドモも絵本 DAY「絵本読み聞かせ!」
会場内の絵本コーナーで tupera tupera の絵本を読んでもらって、とびきりの「△★%なかお」になろう!読み手:おはなしのろうそく
- 日 時 4月6・13・20・27日(毎週木曜日)
午前11時～
- 会 場 新潟県民会館 ギャラリー(3F)
- その他 参加費無料
※他にも平日限定でイベント開催いたします。
詳細はHPをご覧ください。

「夏井いつき句会ライブ」

BSN テレビで放送中の「プレバト!!!」で大人気の夏井いつき先生による句会ライブを開催。

- 日 時 4月29日(土・祝) 午後2時開演
 - 会 場 新潟県民会館 大ホール
 - 料 金 全席指定 3,500円
- ※未就学児童入場不可。
※車椅子席は新潟県民会館までお問合せ下さい。

新潟県民会館
住所 新潟市中央区一番堀通町3-13
TEL:025-228-4481
URL:<https://www.niigata-kenminkaikan.jp/>

● 県立近代美術館 (長岡市)

■ 新潟県立近代美術館開館30周年記念
望郷の画家 橋本龍美展
— 神も、庶民も、バケモノも

【橋本龍美《風之唄》1981年 当館蔵】

新潟県の加茂市に生まれ育った橋本龍美(1928-2016)は、独学で日本画家を志し、独自の世界観による表現で注目を浴びました。幼い頃の体験を糧に、妖怪たちや故郷の祭、暮らしを営む庶民の姿をユーモラスに描いた画家の回顧展です。

- 会 期 4月15日(土)～6月4日(日)
- 休館日 月曜日 *5/1は開館
- 開館時間 午前9時～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 観覧料 一般 1,200円 (1,000円)
高校・大学生 1,000円 (800円)
中学生以下 無料

■ 開館30周年記念 コレクション展 第1期
[展示室1・2・3] 没後50年 横山操展

- 会 期 4月11日(火)～6月18日(日)
- 観覧料 一般430円 (340円)
高校・大学生200円 (160円)
中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金です。
※ 障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

県立近代美術館
住所 長岡市千秋3丁目278-14
TEL:0258-28-4111
URL:<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

● 県立歴史博物館 (長岡市)

「伝える—災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」

同和火災(現あいおいニッセイ同和損保)の廣瀬鉞太郎氏が収集した災害資料は、18世紀から20世紀初頭に日本全国で発生した各種災害をほぼ網羅しています。

過去の人々は一体どのように災害を記憶し、伝えようとしたのか。本展ではその様子を、あいおいニッセイ同和損保所蔵の災害資料のうち、約140点から紹介します。あわせて近世期に新潟県域で発生した災害に関する資料も紹介します。



【鯨を押える鹿島大明神】

- 会 期 4月22日(土)～6月4日(日)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 場 所 県立歴史博物館企画展示室
- 休館日 月曜日
- 観覧料 一般840円、高校・大学生600円、
中学生以下無料

※ 学校団体でご観覧の場合は、新潟県内の学校は無料です。事前にお申込みください。

県立歴史博物館
住所 長岡市関原町1丁目2247-2
TEL:0258-47-6130
URL:<http://nbz.or.jp/>

● 県埋蔵文化財センター

企画展1 「発掘された名前」

木簡・墨書土器をはじめとする県内出土の文字資料から、人名・役所名・施設名・地名などの「名前」に焦点を当てた企画展です。

- 期間: 4月21日(金)～12月17日(日)
- 時間: 午前9時～午後5時
- 会場: 県埋蔵文化財センター
- 休館日: 期間中休館日なし
- 観覧料: 無料



【墨書土器「石井庄」(上越市岩ノ原遺跡)】

新潟県埋蔵文化財センター
住所 新潟市秋葉区金津93番地1
TEL:0250-25-3981
FAX:0250-25-3986
E-mail niigata@maibun.net
URL:<https://www.maibun.net/>

※PDFファイルで御覧の方は、下線部(Webページアドレス)をクリックすると、直接該当Webページにジャンプしますので御活用ください。

※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。
「新潟県 教育月報」で検索してください。

教育月報 

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町4番地1
電話 025-280-5587
FAX 025-285-3766
E-mail ngt500010@pref.niigata.lg.jp
Web版URL：
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>